

はじめに

高齢ドライバーによる **ペダル踏み間違い事故** の社会的関心が高まっている

アクセルペダルをブレーキペダルと誤って踏み込むことにより生じる事故

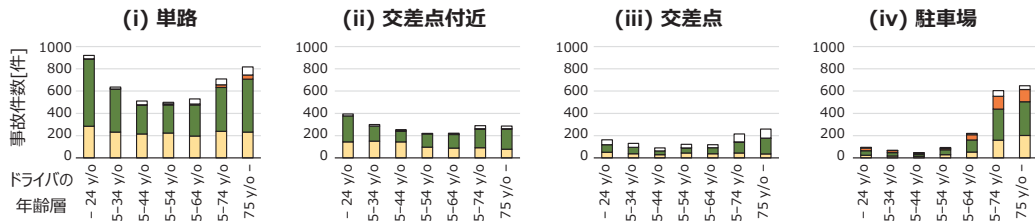
➡ より効果的な対策を講じるには **事故の実情の把握が必要**

調査方法

- 交通事故総合分析センター(ITARDA)「交通事故マクロ統計データベース」
- 2018～2020年(3年間)に 乗用車・軽乗用車のドライバーが起した事故
- 事故要因が「**ブレーキとアクセルの踏み違い**」に該当する事故を集計

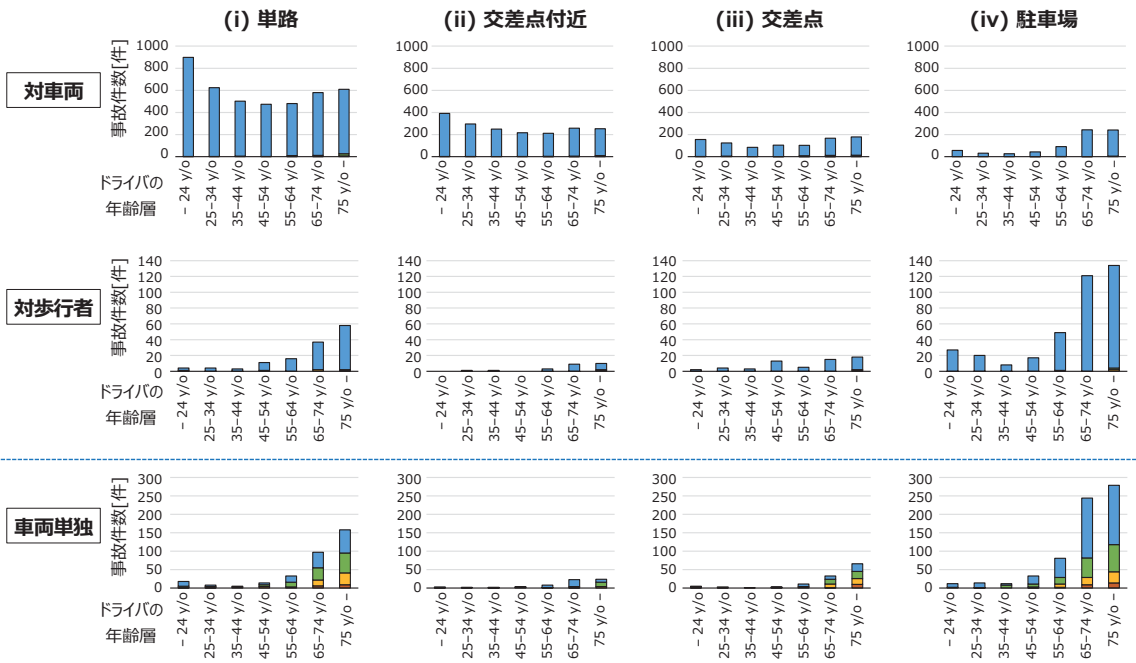
ペダル踏み間違い事故の集計結果

- 事故を起こしたドライバーの年齢層・道路形状・行動類型による集計



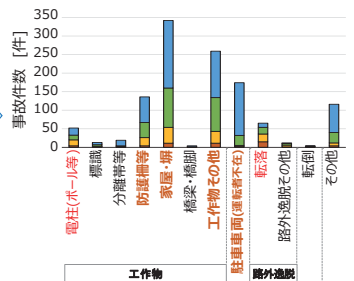
- 高齢ドライバーは (iv) 駐車場で事故が多い
- (iv) 駐車場は後退の割合が高い

- ペダル踏み間違い事故の件数の分布 及び 事故を起こしたドライバーの傷害程度の分布



- 対車両事故は若年者も件数が多い (i) 単路が最も多い
- 対歩行者事故と車両単独事故は高齢ドライバーによる件数が多い (iv) 駐車場が最も多い

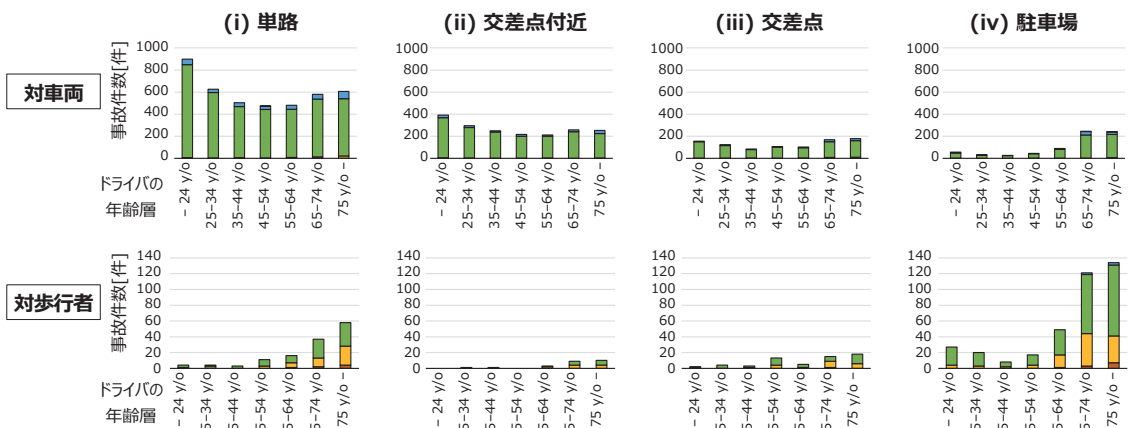
車両単独事故 詳細区分による分布



- **車両単独事故** は **事故を起こしたドライバー自身** の傷害程度が深刻となる

- 「家屋・塀」「防護柵」「駐車車両」への衝突事故が多く「ポール等」への衝突や「転落」は死亡重傷割合が高まる

- 衝突相手の傷害程度の分布



- 対歩行者事故は 相手歩行者の傷害が深刻となる

まとめ・対策案

高齢ドライバーによるペダル踏み間違い事故の削減や傷害の軽減には **対歩行者事故・車両単独事故** の予防が必要

- ・ 駐車場
 - ・ 走行中や後退中
 - ・ 対歩行者や対物(ポール等)
- といった場面での 予防安全装置 (例えば ペダル踏み間違い時加速抑制装置) の作動強化が望まれる